

まよりの詩  
あしたの詩



日本作詩家協会年刊詩謡集  
1974年版

5014

きよしの詩と（たの）詩

日本作詩家協会年刊詩謡集

1974年版

## 序

サトウハチロー

これだけの詩謡集を出している団体は作詩家協会だけです。

ボクはそれを誇りに思っています。

これだけ、つづけて出せるところも作詩家協会だけです。

ボクは、それが嬉しくてたまりません。

ボクは十五の時から詩を書いていきます。

いままでにいろいろな団体に、はいつていました。アンソロジーみたいなものも、何冊か出しました。けれど、つづけて出せたところは、一つもなかったのです。

作詩家協会には、まとまりがあります。

年をとった人は若い人がかかります。

若い連中も又、年をとった人たちを敬愛して、よく働きます。

ボクはそれが好きなのです。

気に入っているのです。

逢えば、いつでもわきあいあいまことにいいキモチです。

この詩集は、そういう人たちが、ひとかたまりになって作りあげたものなのです。

ボクは、生きている限り、この詩謡集に参加します。

大事なつとめだからです。

この本が出来て、みんなといっしょにのむ日が待ちどうしくてたまりません。

その時の酒のうまさを思うとわくわくしてきます。

(日本作詩家協会会長)

# もくじ

序	サトウ	ハチロー	一	
下北半島の女	ア	ベ・イチロー	二〇	
愛と云う言葉	あ	かはた	元康	三
ずんぐり・むっく	相	田	八郎	三
雪のふるさとへ	青	木	三郎	三
オーマイラブ	青	木	繁	三
は・る・だもの	青	山	由美	三
終着駅「ユメ」	秋	田	泰治	三
紫 陽 花	朝	井	美智正	三
涙の止まる町をさがそう	浅	熊	幸	三
春らんまん	浅	木	しゅん	元
美しいわかれ	浅	野	国雄	三
人 生 の 詩	浅	野	哲秋	三
これからの二人	芦	北	士郎	三
ふたりだけの夜に祈ろう	芦	田	しげる	三

ネオン恋町なみだ町	飛鳥井	芳朗	三
新宿子守唄	梓	由美	三
二年前の出来ごとき	新井	みさち	三
酒飲み百面相	荒川	利夫	七
男の岬で廻れ右	荒木	忠雄	六
新宿西口駐車場	綾部	孝男	元
ふるさとでなくしたもの	鮎川	公正	四
わたしのトゲをぬいて	淡島	千佳夫	四
嵐よ 嵐よ 大人たちよ	いけや	かつとし	三
夕波かもめ	いばら	城	三
俺のギターはゴキブリの	いまいずみあきら		四
ネオン妻	いまだ	完	三
愛と別れと	井田	誠一	四
かえってこないで	伊勢	ひろし	七
想いで恋のカデンツァ	伊丹	将人	四
りんごのほっぺちゃん	伊藤	一生	四
バラは咲かないかもしれない	伊野上	のぼる	三
やけっぱちのブルース	飯塚	義美	三
帰ろうとしたけれど	笹	文絵	三
恋に溺れて	池上	信	三
窓に明る雨だから	池田	三樹郎	三
かあさんの物差しは	池田	充男	三
男の誠	石	一十	三

そのわけは言えない……………	石川	泰久……………	毛
椿の里……………	石田	健次……………	禿
指切りした日から……………	石橋	正子……………	禿
傷跡……………	石本	美由起……………	空
恋岬……………	市川	武志……………	空
朱美……………	稲葉	爽秋……………	空
おんなな舟……………	猪俣	泰彦……………	空
悲しき米……………	岩崎	吉太郎……………	空
ふるさと・沖繩……………	岩瀬	ひろし……………	空
野外演奏会……………	岩田	しげる……………	空
夜更けの町よ……………	岩本	拓三……………	空
街の教会……………	うなばら	・真……………	空
ひとりの女……………	宇山	清太郎……………	空
板前情歌……………	植田	竹雄……………	空
夢をこわさないで……………	上野	たけし……………	空
恋の味……………	魚谷	くみ……………	空
淋しい雨……………	潮	ふみ子……………	空
日曜日の子守唄……………	宴	ゆり……………	空
望郷の歌……………	詩川	しぐれ……………	空
ヨコハマ恋歌……………	内田	つとむ……………	空
夜のアドレス……………	海原	光……………	空
アラジンたづねて……………	梅田	幸三……………	空
新しい二人……………	浦田	常治……………	空

寺町坂町恋の町	浦辺	清史	〇
裏通	江島	景子	一
これでいいの	海老沢	孝一	二
夢追う女	榎本	勝春	三
手鏡の詩	遠藤	英一	四
おふじさん	オマタ	ハチロウ	五
おつかさんギター	おいだ	みのと	六
わたしの男	おち	としこ	七
朝焼けの駅	小川	淳	八
雪の海老坂	小川	比富美	九
人生無情	小口	幸重	一〇
ムカデが靴をはいたら	小黒	恵子	一一
東京慕情	小野	津加佐	一二
いいそびれた愛の言葉	小野	まさあき	一三
あの人胸に抱きながら	及川	肇	一四
可愛い女	大久保	正弘	一五
別れて一人	大坂	秀次郎	一六
温泉酒場	大沢	昭男	一七
とにかくおいでよ	太田	武彦	一八
あしたの旅	大竹	ゆきを	一九
わたしの胸に生きてるあなた	大野	いくを	二〇
ふたりはひとり	大橋	哲郎	二一
鹿踊り	大村	主計	二二

おもい出汽車	大屋 哲夫	103
心の真珠	大渡 弘良	104
なみだ橋	逢坂 豊	105
待合室に吹く風は	丘奈 さちを	106
山鳩が愛を呼んでいる	岡田 壮三	107
倉敷の子守唄	岡野 極	108
恋 地 獄	岡本 和子	109
嘆きの舗道	岡本 良一	110
女の灯り	荻原 秀夫	111
あなたはお舟 あたしは港	奥野 椰子夫	112
女の 敵	落合 良雄	113
こんにちは長崎 港町	鬼崎 知子	114
手袋のうた	帯谷 瑛之介	115
同情はしないで	かねこ ともし	116
しあわせ宛の手紙	かわうち 登	117
初 恋 の 虹	加藤 完二	118
君は風のようにだったね	加藤 省吾	119
札幌ジプシー	鹿野 里美	120
白根山心中	片貝 俊郎	121
いのちの賛歌	角海 夜詩次	123
なみだ花	金井 ゆきお	123
七本指のピアノ弾き	川合 秀夫	124
北のブルース	木下 幸朔	125



愚痴	木村	じろう	一三六
あなたのいない夜	菊地	英夫	一三七
やっと建てたよマイホーム	北原	楨夫	一三八
くわえタバコの女	くるみ	広彰	一三九
幸せに鍵かけて	工藤	りつお	一四〇
アリデベルチとうきょう	九条	高嶺	一四一
さよなら連絡船	黒白	実	一四二
日本列島・哀愁岬	ごとう・としのぶ		一四三
港と女と渡り鳥	小泉	邦雄	一四四
あれから五年たちました	小嶋	かずひろ	一四五
北国の慕情	小嶋	高志	一四六
瞽女・姻ブルース	小高	勝義	一四七
生野銀山子守唄	小谷	健一	一四八
独り旅行く奥州路	小林	金次郎	一四九
あだし野	小林	とくさ	一五〇
港木更津酒場町	古神子	民夫	一五一
書きおき	古頃	正章	一五二
犬吠岬で泣く女	五条	ユキシロ	一五三
四季の女	郷	伍郎	一五四
夜明けの太陽	越野	みのる	一五五
北海の寄港地	越砂	温夫	一五六
この世はだまし絵	紺野	たぐし	一五七
カラデュームと涙とわたし	サトウ	ハチロー	一五八

夜のサクランボ	さきゆう	かつみ	一四
残侠手まり唄	佐久間	常夫	一五
長い目の悪魔	佐東	たどる	一五
時の流れ	佐藤	菊絵	一五
卒業式	佐藤	進	一五
風花の匂う町	佐藤	木章	一五
これが女の幸せならば	佐藤	まさを	一五
秋子のブルース	佐藤	正美	一五
美しいサヨナラ	佐野	和子	一五
なんとなく	西條	直樹	一五
やっぱりいいなアふるさとは	斎藤	政美	一五
この街ともお別れ	酒井	国雄	一六
ある訣別	酒井	良之佑	一六
流れた恋は戻らない	坂入	洸一	一六
おみくじを水に流す女	神原	清人	一六
暗い十字路	神原	康司	一六
NOWでいこうよ	咲山	道雄	一六
これでおしまい	沢	みね登	一六
さよならの言葉	じゅん	知央	一六
愛よ、帰っておいで	四賀	郷子	一六
浪花雨模様	志賀	大介	一六
荒野の男	志摩	勝也	一七
赤坂の夜をあなたに	紫藤	孝	一七

山に登れば……………	斯波	一繪……………	一三
雨上がりの慕情……………	清水	みのる……………	一三
さすらいおんな……………	清水	美保……………	一四
さいはての街で……………	鹿倉	義一……………	一五
星の夢……………	篠原	鑑明……………	一六
お酒を頂戴……………	柴田	よしかず……………	一七
ひとりぼっちの花占い……………	渋沢	登磨……………	一七
俳人種田山頭火……………	島田	馨也……………	一七
愛怨海峽……………	島田	信義……………	一八
街角……………	島田	陽子……………	一八
悪女ぶってはいるけれど……………	島本	富美子……………	一八
女賭博師……………	首代	千恵……………	一八
南海の鈴……………	周東	敬二……………	一八
東京けだるさ……………	白井	喜一……………	一九
スポット・ライト……………	白水	かおる……………	一九
流れ星の女……………	白土	やすじ……………	一九
新瀉艶歌……………	新保	おさむ……………	一九
別れは夜になってから……………	すずき	こういち……………	一九
北海に生きる……………	須沢	玄詩……………	一九
涙と雨と十六才……………	眇田	栄一……………	一九
怨念峠の白い花……………	杉	紀彦……………	二〇
待つ女……………	鈴木	淳子……………	二〇
お別れ海峽……………	鈴木	昭一……………	二〇

居酒屋の女	鈴木哲郎	一五五
天使の記憶	鈴木宗敏	一六六
午前二時の女	砂見爽	一七五
恋の最中	瀬川百合子	一八六
若者よ 旅に出ないか	関口義明	一九九
汽車爛慢の煙の色	関沢新一	二〇〇
そしてまた冬が来る	相馬詩彦	二〇一
初恋レポート	相馬日照	二〇二
いい娘だぜ	園田一俊	二〇三
恋の喪服	たかぎかずお	二〇四
紅がら雲	たてまちすみと	二〇五
さすらい	大宰衛	二〇六
夏子のバラード	田中英史	二〇七
瞳に輝く二人だけの星	田中凡オ	二〇八
草 笛	田畑しげき	二〇九
おんな歌	田村和男	二一〇
つぎはぎだらけの幸せだけど	高上あゆむ	二一一
夏の痛み	高瀬臣子	二一二
てくてく歩いてゆこう	高田ひろお	二一三
下北にひとり旅して	高月ことば	二一四
俺らは大学二年生	高橋高威	二一五
冬の旅人	高橋秀佳	二一六
乗れないブランコ	高畑和之	二一七

この世全てが花ならば	竹内大三	三二八
あきらめて思い返して	竹田勇人	三二九
さすらい出船	谷田幸平	三三〇
原野の女	玉木一史	三三一
夜のガソリンスタンド	ちばゆきを	三三三
津軽の風土記	千葉勝友	三三三
夜霧の挽歌	つきしま一	三三四
霧はさすらいの詩人	塚谷清一	三三五
風に吹きよせられて	筑紫みなも	三三六
夕べの悪夢	土屋紅	三三七
十和田湖悲恋	寺沢秋穂	三三六
男の群れ	天大志	三三九
それから私は	土佐友和	三三〇
あなたのみなと	土橋正之	三三一
ラヴェー札幌・ラヴリイ雪の街	道仙邦紘	三三三
青春	遠山武男	三三三
夢見るしあわせ	徳永みどり	三三四
道	富田清吾	三三五
神さまなんて消えっちまえ	富山紫蜂	三三六
ママの手のひらに	豊沢正義	三三七
螢ぶくろと雨蛙	中島清一	三三八
危険なしのび逢い	中司雅子	三三九
丹波の人よ	中野仙次	三四〇

他 人 星	中野	惣太郎	二四二
恋の烙印	中野	芙美世	二四三
男と女のバラード	中村	あきら	二四三
これっきりの恋	中山	かざとし	二四四
チンチン電車よいつまでも	中山	邦雄	二四四
小 舟	中山	大三郎	二四六
オランダ坂慕情	中山	二夫	二四七
下町からの出発	永井	ひろし	二四八
美しい生活	夏木	鋭一	二四九
夜の花園	七浦	渚	二五〇
恋人募集要項	並木	ひでを	二五一
嵯峨野の琴	成瀬	左千夫	二五三
夏のあやまち	二条	冬詩夫	二五三
責任とってもらいます	仁礼	美智雄	二五四
ふ・る・さ・と	西沢	爽	二五五
葉桜のころ	西山	昌子	二五六
妻 よ	沼	真佐夫	二五七
ベトナムからの手紙	ねもと	みつや	二五八
愛の革命	根岸	一男	二五九
旅に出たいな	能勢	英男	二六〇
哀 愁 岬	野々	哲幸	二六一
青いマスカットと私	はせべ	ゆり	二六二
ふるさとが言った	はまだ	ゆきお	二六三

青い道	はげやま	清美	二六四
東京おけさ	長谷川	洋	二六五
花の精	馬場	冬樹	二六六
夜はつめたい	橋本	守正	二六七
天使の気まぐれ	八反	ふじを	二六八
あなたは魔法使い	服部	迪夫	二六九
男道	英	玲二	二七〇
別れの宿	浜	大介	二七一
三陸港の恋女	浜	実	二七二
銀座の殿様	林	秀夫	二七三
日本人ここに眠り給う	原	三佳	二七四
もてもて人形	原	俊雄	二七五
色彩のない虹	原	由記	二七六
悲しい女にさせないで	播	智行	二七七
白い花ちる	伴在	主計	二七八
酒場で生きてます	日賀	葉介	二七九
お中元	東	誠一	二八〇
夜来の雨	平井	健一	二八一
ちゑの願い	平川	正義	二八二
あなたに上手に愛されて	平山	忠夫	二八三
亡き母は	福井	水明	二八四
さいはて旅愁	藤沢	ひろし	二八五
笠間のけむり	藤田	鶴之丞	二八六

女のよろこび	藤田	まさと	二六七
さよならの花	藤間	哲郎	二六八
泡雪さんげ	藤村	閑夫	二六九
想い出星	古市	哲夫	二七〇
芝生にねそべて	古野	哲哉	二七一
最後の家	北條	新太	二七二
トニーのブルース	星合	節子	二七三
誰もこない	星野	哲郎	二七四
君の似顔絵	細川	憲哉	二七五
草餅おばさん	細川	雄太郎	二七六
勘三郎鴉	本城	さとる	二七七
雨に濡れた花束	本間	繁義	二七八
ひとりだけの祭	本間	長三郎	二九八
ムウチ ヨムウチ ヨ東京	真田	幸一	三〇〇
夜明けの神話	前島	達夫	三〇一
みだれ花	牧	房雄	三〇三
灰色のブルース	増子	善典	三〇三
驟雨	松井	由利夫	三〇四
喜劇	松浦	志津夫	三〇五
かなしみをつれて歩こう	松尾	幸雄	三〇六
愚痴より過去より涙より	松岡	美勝	三〇七
サーカス暮らし	松崎	暎子	三〇八
雪娘	松平	史紀	三〇九



東京の涙	松本	英祐	三〇
浜松慕情	松本	摂子	三一
さいはての雲母雪	松山	幸二	三二
まぼろしの女	みずお	久巳夫	三三
振りむけば女	みずの	稔	三四
涙のしょっぱい海が好き	三浦	貞雄	三五
女の祈り	三上	博司	三六
可愛い君よ	三島	迪之助	三七
無情旅	三鷹	彰	三八
道	三谷	ケイ	三九
ながら川	三益	武司	三〇
雨と相合傘	三宅	立美	三一
昨日と今日のバラード	美山	鋭太郎	三二
なにかをしてやりたい	水紀	亜美	三三
離愁	水木	かおる	三四
愛が苦しい	水谷	洋子	三五
小さな秋を告げました	水野	甚太郎	三六
魔女と王子のメルヘン	水野	徳好	三七
白いエプロン	港	ひろし	三八
そろりと参る	南	咏子	三九
幸せのはじまる時	南	早苗	四〇
愛の廃虚	南	由紀	四一
鷗はとび立つ	南沢	純三	四三

赤い灯台……………	峰	よしを……………	三五
たしかあの絵は、ルノアール……………	宮川	哲夫……………	三四
みずうみ……………	宮沢	章二……………	三五
愛のない愛……………	宮沢	守夫……………	三六
くちなしの思い出……………	宮田	隆……………	三五
秘密の恋にはスリルがあるの……………	宮中	雲子……………	三六
啄木の町君の町……………	宮本	かずや……………	三九
佳代の指……………	村上	文恵……………	四〇
木地山恋唄……………	村上	みのる……………	四一
大道易者……………	村山	務……………	四三
恋のリメンパー……………	村山	二永……………	四三
幸せが逃げる……………	室屋	安美……………	四四
愛の救い……………	持田	三郎……………	四五
おんな川……………	森	きよみ……………	四六
心で告げよう……………	森	めぐみ……………	四七
雨の日フトン敷いたまま……………	森山	としはる……………	四八
男は生きる……………	やまうち	亮……………	四九
佐々木小次郎の歌……………	矢ヶ部	信次……………	五〇
雨……………	矢野	亮……………	五一
女の数え文字……………	柳	英二……………	五三
恋いのち……………	山上	雅人……………	五三
隅田川大橋……………	山上	路夫……………	五四
山茶花の道……………	山口	洋子……………	五五

あの街この街よその街	山田	晃義	三六
再　　愛	山田	佳泉	三六
忘　　れ　　草	山本	志げみ	三六
劍　　豪　　伝	雪野	斗詩夫	三六
それは運命の糸	夢	虹二	三六〇
女のしのび街	横山	賢一	三六一
夕焼けの恋	吉田	哲也	三六三
女難の相がございます	わたなべ	ちかお	三六三
女　　　　　花	わたべ	まちこ	三六四
お　　ね　　が　　い	若山	かほる	三六五
想い出の山の手線	渡辺	治	三六七
ならず者のブルース	渡辺	久士	三六七
あとがき	藤間	哲郎	三六八

題字　藤田　まさと  
表紙　佐藤　昭